



西郷義務教育学校の理念・・・はやくも根づき始める

9月発行の学校だよりでも紹介しました来年度開校の西郷義務教育学校の「教育理念」「学校目標」「校訓」ですが、4月の開校を待たずしてその理念等は西郷中学校の生徒達にしっかりと根づき始めたようです。

今回はその一端が垣間見えた12月15日(火)に実施された「生徒集会」についてお知らせします。西郷中学校では毎月1回生徒会役員が企画する生徒集会が実施されます。今回は2年生を中心とした新生徒会役員となって初めての生徒集会でした。今回の集会の目的は2つです。

- (1) 学級や全校専門委員会、中央委員会での話し合いがうまく進まないという課題を踏まえ自分たちでより良い集団として意思決定ができるような話し合いの流れを考えるきっかけを作る。
- (2) 学校の課題を投函するシグナムポストの周知徹底を図る。(シグナム=ラテン語で「星座」)

感心したのは、自分たちの課題を明確にし、それを解決するための具体的な方法(今回は良い話し合いと悪い話し合いを生徒会役員が実演し、何が良くて何が悪いのかを考えていました。)を考え、集会を実施した点です。まさに、西郷義務教育学校が理想とする生徒の姿がそこにありました。すでに西郷義務教育学校が目指す教育はスタートしています。



全職員が協力して!・・・職業講話・人権教育

12月7日(月)には職業講話が実施されました。今回は私と事務職員の中原さんが講師として話をしました。中原さんは知事部局からこられた本校3年目の職員です。これまでの経験から講話の目的である「仕事に対する情熱や使命感を持つことの大切さ」「今学んでいることが様々な仕事に活かすこと」について熱く語っていただきました。

また、12月4日(金)からは人権週間でしたが、先生方だけではなく技術員の徳田さんも本を通して人権について考えるきっかけを作っていただきました。

西郷中学校では、これからも全職員が協力して、よりよい教育活動を行っていきます。

